

複数議席回復
政治に春を

掛川春だより 第8号

【掛川市民の友・号外】 2021.3.31

発行：日本共産党掛川市委員会



●日本共産党掛川市議会議員 勝川 しほこ (22)1325
掛川市塩町 3-7
●日本共産党掛川市政策委員長 大井 正 (23)1848
掛川市家代 2194-6

2月定例会の報告です

勝川議員の一般質問

かるやと納税のあり方について

◆勝川 市長裁量分の積み立て4億7961万円の使途は今後誰がどうやって決めるのか。

◇市長 市長が勝手に決めるものではなく、議会にはかり予算化していく。

◆勝川 積み立てた裁量分をコロナ禍で苦しむ市民への新しい救済制度に使う考えはないか。

◇市長 緊急に今やるべき要件はないと考える。

◆勝川 企業はもうけが第一。企業版ふるさと納税には企業との癒着や忖度などを生む危険がある。

◇市長 重々ふまえて曲がったことのない運用に努める。

核兵器禁止条約の批准について

◆勝川 市長として核兵器禁止条約への参加を求め署名をして、国に参加を促す考えはないか。

◇市長 核兵器の禁止は人類共通の願い。市長として賛同し署名をした。

◆勝川 市役所に垂れ幕を掲げる、ロビーで原爆展を行なうなど検討を。

◇企画政策部長 いろいろ広く検討していく。

コロナ禍での選挙権行使保障を

◆勝川 SNSの活用、広報の周知などは。

◇総務部長 新聞折り込みの届かない方へは希望者への郵送のほか、ホームページに掲載、入場券へのQRコードの添付をする。

勝川 居宅介護施設など外出制限のあるところでの選挙権行使の保障は。

◇総務部長 入所施設には不在者投票が申請できることを周知。外出への配慮をお願いする。

◆勝川 商業施設や駅などでの期日前投票を。

◇総務部長 今後検討していく。

4年間の議員任期の最後に

◆勝川 掛川市政がいろいろな意見が真摯にやりとりされるより民主的なものになっていくことを期待する。

◇市長 市民の意見、議員の意見を聞くこと、活発な意見を取り交わすことが行政にとっても大切だと考える。

※一般質問「コロナ禍での追加対策」は春だより6号に掲載しました。

大井正
にいろいろ聞いてみよう

【番外編・妻の保子さんに聞きました】

【質問】正さんの長所・短所を一言で言う？

長所は、おおらかで人を見る目が広くて暖かいこと。孫に対しても欠点を見るのではなく、長い目で見ています。あと一度決めたら責任をもって最後までやり通すこと。短所はマイペースで、自分のペースを常に守ることです。ちょっとほめすぎかな。

複数議席回復特設サイト↓



→連絡いたされば、見本紙お届けします

政治革新の道しるべ、真実つたえ希望はこぶ

しんぶん 赤旗
日刊 3497円
日曜版 930円

中小企業者応援給付金 申請〆切りは4月末です
税金の滞納があっても「納税相談」に出向けば申請ができます。新規開業も対象になりました。今年3月までに対象月も延長されました。対象外になり困っている方は勝川まで相談を！制度の拡充を求めています。



2021年度予算に異議あり

マイナンバーカードの推進、デジタル化を進めるためにDX推進室を置き、人員を配置する。移住促進、地方分散の受け皿にと予算付けする。粟ヶ岳ロープウェイ設計費だとか、お城周辺の整備だとか、新たな事業にも着手しようとしています。

その一方緊縮財政として一律の削減を各部署に指示して、教育では学校の洋式トイレ化を見送り、図書室の本の購入費まで削る。在宅介護の紙おむつ支給には所得制限を設ける。教育福祉の予算を削っています。生ごみ処理機などの補助金事業も次々に廃止。バス路線中心の公共交通政策で後は地域のボランティアにお任せでは困ります。

地方自治体の目的は「住民の福祉の増進」です。税金は市民のために使われなくてはなりません。

コロナ危機の今、不用不急の大規模事業は見送り、公共の担うべきものを切り捨てない、誰ひとり取り残すことがないような暖かい市政が必要です。

以上の思いで、2021年度予算案の反対討論に立ちました。